

おさんぽマッププロジェクト

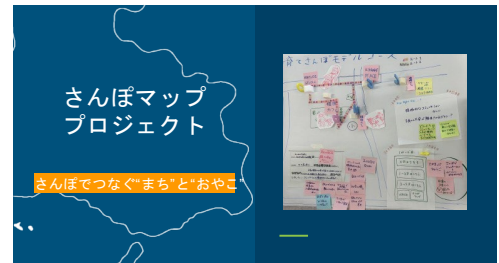
プロジェクトメンバー：経営学部4年、経営学部4年、経営学部4年

指導教員：内田浩史

私たちが行う「おさんぽマッププロジェクト」は、神戸市兵庫区平野地域を中心として、子育て世代が持つコミュニケーションに関する課題を、デザイン思考で解決しようとするプロジェクトです。経営学部開講の集中講義、「ソーシャルビジネスプランニング」にて、実際にグループでのインタビューを通して抽出された課題に対し、さらに深掘りを重ね、適応課題を解決する案として本プロジェクトを実現に向けて活動してまいりました。

<要旨>

「平野に住む親子の新しいつながり」というテーマでインタビューを行い、「親同士のつながりは欲しいが、積極的なコミュニケーションをとるのは苦手だ」という課題を発見しました。この適応課題に対し、積極的なコミュニケーションなしに親同士のつながりに相当する機能を提供できれば、このような課題が解決できるのではないかと考え、出た案が「さんぽ」というコンテンツでした。さんぽルートをモデルコース化したマップを作成し、そこに親子が自然と集まるよう促す。マップには子連れを歓迎する飲食店や施設、遊びやすい公園、おむつ替えができるトイレなど、まちでの子育てをしやすくする情報を掲載する。これにより、まち全体に親子のゆるいつながりが生まれ、孤独感や不安が解消できるきっかけになると考えました。このプロジェクトを遂行するにあたり、目標としたのはマップのリリースです。追加インタビューや、行政・子ども会など地域の団体にもご協力いただきながら情報を集め、いくつかの候補ルートを挙げるところまで進めました。リリースにあたり残るタスクは、マップへの掲載候補になる施設に対しての許可とり、マップのデザイン、配布先の決定です。下記にて、これまでの活動の経緯をより詳しくご説明いたします。



1. 課題

0～2歳（幼稚園入園前）の子どもを持つ親

- ▶子育てにまつわる不安を解消したい
- ▶子育てでコミュニティに属す必要がある
- ▶ママ友コミュニティなど
- ▶積極的なコミュニケーションは苦手



2. 解決策

さんぽマップの作成

- ・「さんぽモデルコース」のような推奨ルートを設定
- ・子どもが遊びやすい公園、子連れ歓迎の飲食店、歩きやすい道など...

- ▶さんぽルート上で自然に親子が集まる環境づくり
- ▶孤独感や不安の解消ができるのではないかと



3. これまでの活動

- ・平野地域のまちゆく親子にインタビュー ————— 授業
- ・実際にルートの候補となる道の散策・インタビュー ————— 授業終了後
- ・兵庫区役所の地域協働課の職員さんと交えたディスカッション — 12月20日
- ・地域の子ども会が主催するイベントでの情報収集 ————— 2月2日

4. 活動の詳細① 道の散策・追加インタビュー

- まちゆく親子に「こんなさんぽマップがあったらどう思いますか？」と質問
- スーツケースをベビーカーに見立てて、歩きやすい道を調査

・ 成果 ・

- ☑ 多くの好感触
- ☑ ルートの候補の発見

<詳細>

半年ほどの活動の中で、具体的には次のようなことを行ないました。拠点である平野での追加インタビュー・兵庫区の地域協働課の方を交えたディスカッション・地域の子ども会主催のイベントでの情報収集です。目的としてはそれぞれ、アイデアのブラッシュアップ、リリースのために、行政目線で必要なことの洗い出し、行政目線で必要なことの達成を掲げて活動を行いました。ブラッシュアップにおいては、アイデアをまちゆく親子に紹介し、反応や意見を集めました。思っていた以上に応援の声をいただくとともに、どんな情報を欲しているのか、が明らかになりました。具体的には、子連れ歓迎の飲食店、遊びやすい公園、綺麗で機能的なトイレが特に求められており、これらをマップに盛り込むのが効果的だと判断しました。

ご指導いただいている内田先生・砂川先生のご紹介のもと、兵庫区役所の地域協働課の方から、行政目線のご意見をいただきました。リリースに向けて、地域住民の人と作り上げたマップであることが重視されるということがわかり、その課題意識のもと、子ども会主催のイベントに参加させていただけないか打診しました。イベントに参加した親御さんたちを交えて、こんな店がある、ここをよく使う、この公園に行く、など、マップに掲載する候補地と一緒にプロットしていきました。その結果として、下記のような2つのルート候補を導出することができました。

アイデアの初期段階では、さんぽルート上にデジタルサイネージを設置し、そこに子育てにまつわる情報を行政・民間問わず集約するという機能を検討していました。こちらも、インタビューにおいて評判はよく、コアとなりうる機能だと確信していましたが、やはり投資、運営などにかかるコストを勘案すると、今すぐの実現は困難であり、優先度としては、まずはマップをリリースすることが高いと判断しました。

今後の活動としては、マップの実装に向けて、ここまで収集してきた情報の更なる整理、およびマップのデザインを進め、さんぽを通してまち全体をつなぐ役割を果たしたいと考えています。構成メンバーの卒業をはじめ、多忙のため活動が消極化していますが、ここまでご協力いただいた皆さんの期待に応えるべく、リリースまで責任を持ってプロジェクト

4. 活動の詳細① 道の散策・追加インタビュー

栗山の広場の森を頂きました！

子育て世代と関わる機会の多い女性

「平野だけでなく、兵庫区全体でぜひ作ってほしいです」

3歳と5歳の子供を持つ男性

「子育てしている人目線でもめっちゃいいと思います！」

子育て家庭支援施設の職員さん

「いいと思います。平野の子供のために頑張ってください」

4. 活動の詳細② 区役所でのディスカッション

☐ 実装に向けた、行政目線のアドバイス

☐ 行政目線での現状の課題

- 成果 -

☒ 自由なさんぽで、**あえてルートを指定する意義**が興味深い

☒ **栗山の森**を元にした制作が必要

4. 活動の詳細③ 子ども会での情報収集

☐ 子ども会主催のイベントにご招待いただき、情報収集

☐ マップに掲載できそうな施設の調査

- 成果 -

☒ **子連れ歓迎の飲食店**

☒ **遊びやすい公園**など、子連れ歓迎の施設



1. 課題

子育て支援に力を入れる神戸市

▶ 誰一人取り残さない

▶ コミュニティづくりの推進・情報発信

▶ 【仮説】市民にうまく届いていない

を遂行してまいります。引き続き応援お願いいたします。

2. 既存の施策

「ためまっぶひょう」

→兵庫区の子育て情報が見られるサイト

- デメリット

子育て情報が載っているPDFをサイトに張り付けただけなので見にくい

「おれまておれまて（ふゆつち広場）」

→兵庫区役所内のふらっと広場にある、お悩み相談などが出来る掲示板

- デメリット

アナログすぎるため、現地に人がいないと見えない。

3. 解決策

- ・ 地域の商業施設と提携、子ども連れ歓迎店をマップに掲載
- ・ 子供にも親にも都合のいいタイミングで、ふらっと出かけるきっかけに
- ・ さんぽルートをデジタルサイネージを設置
- ・ ベビーカーを押した親御さんでも歩きやすい道
- ・ 子供も楽しめるしかけ



3. 解決策

- デジタルサイネージの設置
- ・行政が発信する、子育てにまつわる情報を集約・公開
- ・子連れ歓迎の飲食店など、地域の提携店舗の紹介動画を公開
- ・親同士の口コミを集約・公開する掲示板の役割
(・民間が提供する、親子をターゲットとした商品・サービスの宣伝広告)
- ・さんぽルート上に設置することで、散歩の目的地化し、効果を最大化する



3. 解決策

- ・地域産業型子育て情報・さんぽ特化型SNSの運用
- ・行政が発信する、子育てにまつわる情報を集約・公開
- ・子連れ歓迎の飲食店など、地域の提携店舗の紹介動画を公開
- ・親同士の口コミを集約・公開する掲示板の役割
- ・ルート上での散歩の楽しさを発信
 - ・（民間が提供する、親子をターゲットとした商品・サービスの宣伝広告）
- ・さんぽルート上に設置することで、散歩の目的地化し、効果を最大化する

5. 兵庫区の子どもの数

0歳	6 5 9人		3～5歳	1, 8 6 5人
1歳	6 0 1人		6～12歳	4, 7 7 6人
2歳	6 0 4人		 視	1 4, 0 5 8人

子どもの数：総人口／人口動態年一発表より算出・算出
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/info/kosei/kosei/syokoku/syokoku02.htm#02>
*総人口：上表参照、合計48,950人（平成25年4月1日現在）12人
<http://web.pref.hiroshima.lg.jp/info/hw07-000000000.htm>

20%

兵庫県総人口：109,144人に対し
約20%にメリットが見込まれます

6. なぜ我々が取り組むのか

- これから僕になっていく私たち
- 今、子育てをする先輩たちからの支持
- 誰よりも、私たちがこのサービスを利用したい

※テンションを最大限引き出すメンバー

- 神戸を愛する
- 起業して映像制作事業を行う
- 広告代理店でマーケティング業務を提供する予定

7. フューチャープラン

全国のさまざまな課題を「さんぽ」を起点としたコミュニケーションで解決

↑

神戸市でさんぽマップ・デジタルサイネージをデザイン

↑

平野地域の子育てさんぽマップ・デジタルサイネージをデザイン

さんぽ【散歩】〈名詞〉
気晴らしや健康のために、ぶらぶら歩くこと。

- ・積極的なコミュニケーションが不要
- ・金銭的負担がゼロ
- ・手軽で続けやすい

▽さんぽルートを策定することで▽

- ・自然とルート上に親子が集まる
- ・コミュニケーションが得意な人から輪を作ってくれることを期待
- ・地域や行政など、まちとの接点を戦略的に増やせる

“さんボコミュニケーション”で、社会から孤独をゼロに